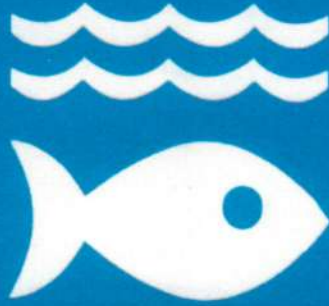
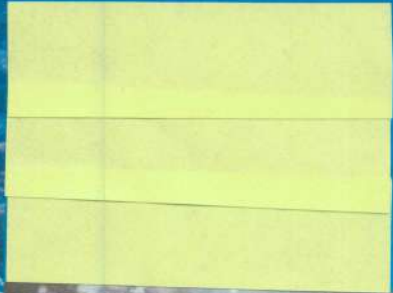


14 海の豊かさを
守ろう



「海の豊かさを守る」ために
海の生物 と ゴミ の関係を調べよう!!



「海はどうなってる??」



「今、私達に出来ることは??」



🗨️ 始めに…

『調べようと思ったきっかけ』

これを調べようと思ったのは、家で小さい魚を飼っています。そして私自身、小さい時から海や深海、海の生き物が好きだからです。なのでこのSDGsの14番を選びました。

『くわしく調べたいこと』

選んだSDGsの14番の海の豊かさを守ろうでの、今、海で起きている海洋ゴミと海の生物達との関係と、解決のために日本と世界で行われている活動。そして、今の私達が知るべき事と出来る事。

『予想』

ペットボトルや小さなゴミがちこちこことあるだけ…？
海の生き物達はもし食べてしまっても吐き出せる…？
SDGsに入っている事は何だかもっと大変…？

『方法や道具』

図書館で本を借りて、より詳しく調べるためにはインターネットを使う。
目で見て知るために博物館、水族館へ行く。

14 海の豊かさを
守ろう



目次

1

海にはどんなゴミの種類があるの？
どのくらいの量があるの？



(1) 海にあるゴミの種類

(2) 1年間で海に出ていく日本と世界でのゴミの量

2

海の生き物達への
えいぎょうは？

いろいろあったら、
1つ、細かーい粒
しか！) 見てほしいなあ
(5よ、としかページない
けれどまあ！は3ん！



3



日本、
そして世界の
活動

(1) 日本国内で行われている
様々な活動

(2) 世界各国の様々な活動

4

今私達に
出来ること

(1) ゴミを減らす行動

(2) 3R (Reduce, Reuse, Recycle) について

(3) 問題を知る

5

感相
心心

予想を振り返って...

調べて、目にして、思ったのは...

SDGs 14を少しでも進めるために
私ができること...

6

出典・参考
写真・資料



1 海にはどんなゴミの種類があるの？

どのくらいの量があるの？

(1) 海にあるゴミの種類

海にあるゴミの種類はほぼ「半数以上」がプラスチックで他に「木材」「金ぞく」「ガラス」「陶器」「自然物」「紙や布」その他に「人工物」など様々なゴミが海に流れています。その中で「最も多い」「プラスチック製品」の主なゴミの種類は「ペットボトル」「ポリ袋」「歯ブラシ」「ボトルの蓋」「おもちゃ」「釣り糸」「魚を取る網」など…数え切れないほどのゴミが浮かんでいるのです！

(2) 1年間で海に出ていく日本と世界のゴミの量

日本で1年間で出ているプラスチックゴミの量は、約850万トンも出ています。

世界では、毎年約1400万トンもプラスチックゴミが出ていと推定されています。

少なくともスカイツリー390基分に相当しています。

これだけのプラスチックゴミが海に流れていることで海の生き物達にどんなえいしょうがおよんでいるのでしょうか…？

2. 海の生き物達へのえいまうは？

ポリ袋をクラゲと間違えて
食べてしまったウミガメは、
やがて飢え死にしていま



© Rich Carey/shutterstock.com



アザラシは釣り系が
魚を取る糸網に絡まって
ケガをしてそのまま
死んでしまうこともあります。

©2009 Chris Jordan(CC-BY)



アホウドリの親は
プラスチックのかけらを
エビのような食べ物と



間違えてひなに食べさせます。お月腹の中が
プラスチックのかけらでいっぱいになると
ひなはそれ以上食べられず
死んでしまいます。



かつて山形県に漂着した
「オウギハクジラ」の胃の中には
海洋プラスチックゴミが充満していました。



プラスチックゴミは分解されず
消えないゴミとして蓄積されます。例えば
北海道の東沖の海底(水深7000m)から回収されたプラスチックゴミには
字の印刷が読み取れるほどのゴミや、
沖縄県の北沖の海底(水深1800m)では
1967年から1970年代初頭の製品と
思われる空き缶が内側のプラスチックフィルムが
あらかわになった状態で見つかりました。

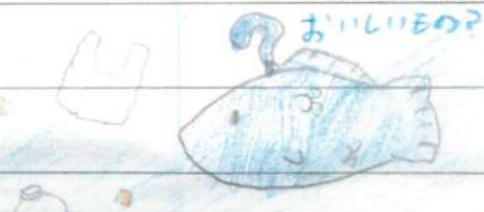


魚もプラスチックのかけらを食べてはい命の危険にさらされるおそれがある。
そのプラスチックのかけらのことを「マイクロプラスチック」と言います。
マイクロプラスチックとは...

海に漂っているプラスチックゴミが長い間波にもまれたり
日差しにさらされたりして米粒のように細かくなっています。
中には顕微鏡で見なければ分からないものもあります。



←マイクロプラスチックゴミが
まがってしまっているプラスチックゴミ



3. 日本、そして世界の活動

(1) 日本国内で行われている様々な活動

日本では様々な活動が行われています。

まず、自然にかえるプラスチックが開発しています。

「スポGOMI」と言てゴミ拾いをスポーツにして学校だけでなく、企業や自治体、さらに地域の方と協力してゴミ拾いをしています。

「シェア&レンタル」というものをみんなで共有する

シェア(例 コミュニティサイクル、シェアカー)と持っている人などから借りるレンタルがあります。



買い物するときにもからレジ袋は

2020年から有料化しました。

レジ袋を使わずマイバッグ(エコバッグ)を使うことを

呼びかけています。

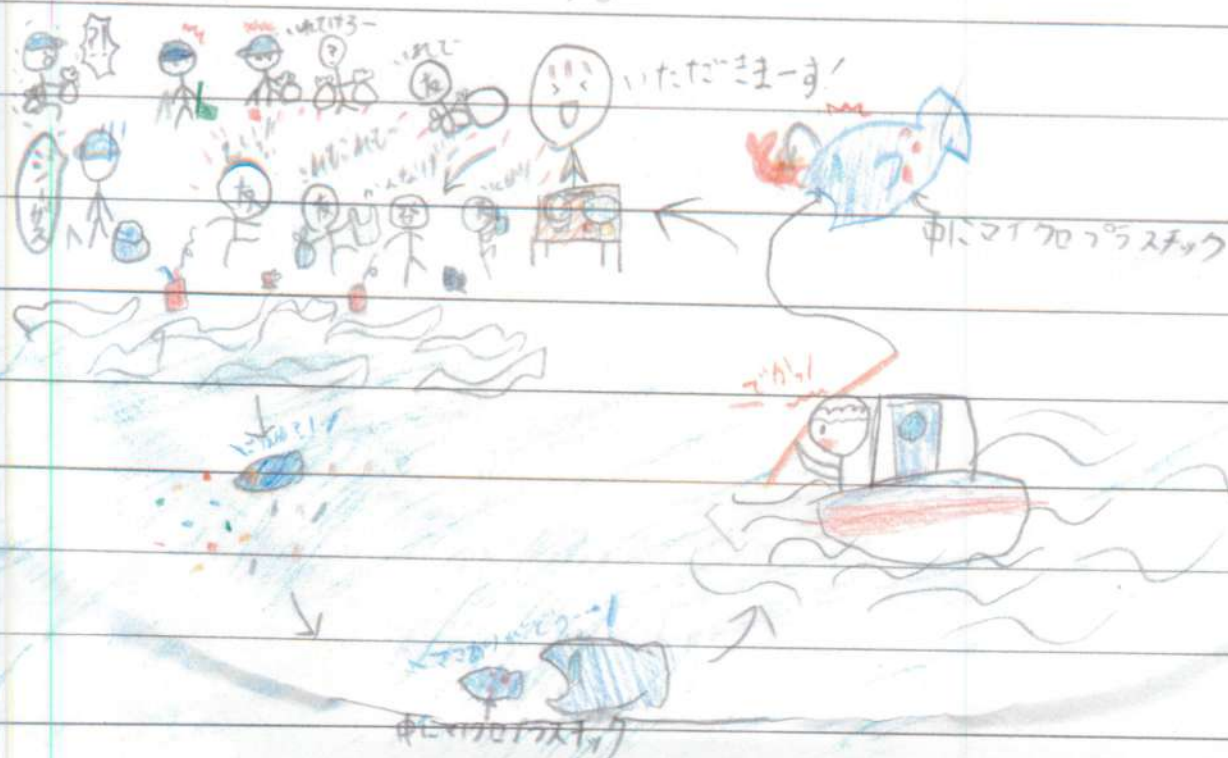


このポスターはスーパーやコンビニで見かけられます。



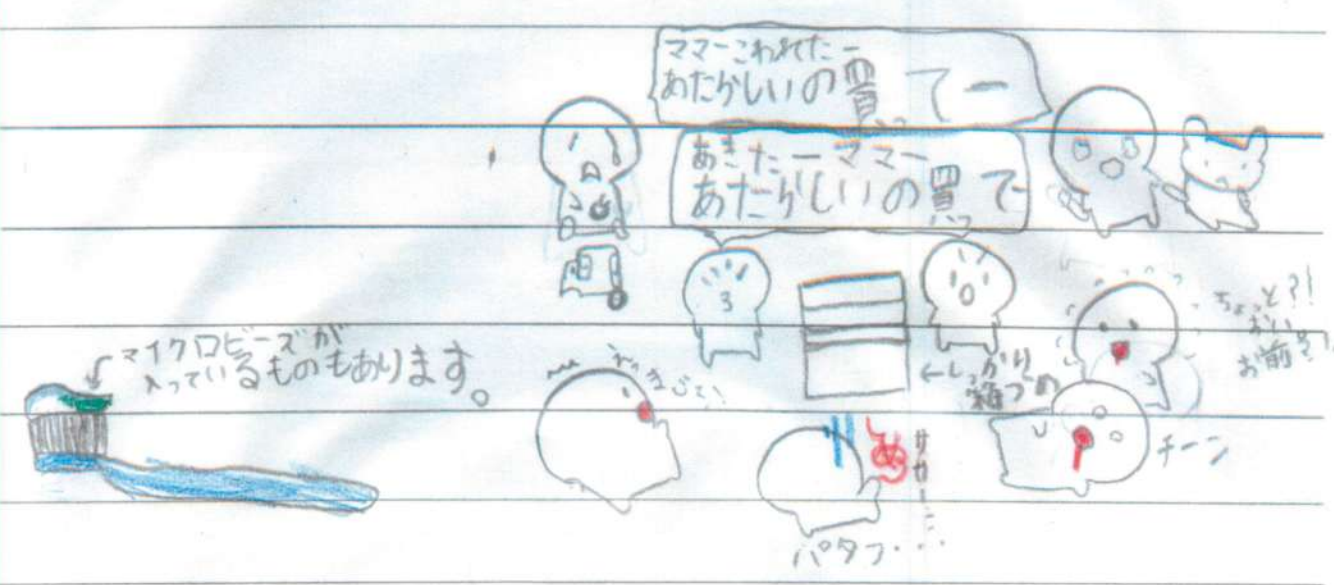
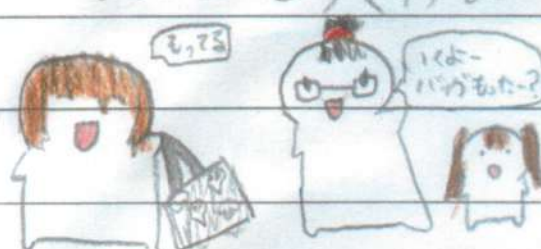
このようなマイクロプラスチックが
海の生き物の体の中から見つかっています。
そのマイクロプラスチックには海の中を漂う生き物達に
悪影響を与える物質が磁石のようにくっついてしまっています。
そんなマイクロプラスチックを生き物が飲み込んでしまうと悪影響を与える物質も
マイクロプラスチックと一緒に体の中に溜まっています。
とくに子供の魚は素早く泳ぐことができなくなり
成長が遅れてしまうことが知られています。

そしてそれらの生き物を私達人間の体にも
マイクロプラスチックが蓄積していると訴われています。
どんな影響があるか詳しいことはまだ調査中で
分かっていませんが大きな被害が出てからでは遅いといわれて
とても心配されています。



SDGs14を少しでも進めるために「私」ができること...

- 自分から進んでマイバッグを持ったりリサイクルが出来るものを選ぶ。
- 家族にもバイオプラスチック製品を選んでもらうように声かけをする。
- ペットボトルだけでなく紙パックの方を選ぶ。
- おもちゃや文房具などを「壊れたから〜、飽きたから〜」と言ってすぐに新しいものをどんどん買わない。
- マイクロビーズ入りの製品を買わない。



5. 感想

予想振り返って...

今、予想を振り返ると予想以上に海は大変な事になっていて、「なんでそうおもった?」と思いはた。今予想を立てた自分に何か言えるな? もう一回考え直して!!」と言っています。

調べて目にして思ったのは...

海の生き物は何もしてないのに人が捨てたゴミのせいで死んでしまうのが悲しくなりました。プラスチックは役立ちながらも苦しめていて「なんであるのかな? あってないか海や生き物達にいいことなんてあるのかな? 自分が〇〇だったら...とか考えないのかな?」と思いました。ですが、そういったことがあるからみんなが「学べるんだ」と思いました。今回このテーマを選んで調べてみたら本に出て来た沢山の人や企業、国立科学博物館へ行っ、そこでも沢山の研究者の方、有名なアナウンサーまで色々な方が関わって海的环境と生き物達のことを日本だけでなく世界中の人に知ってもらうために日々努力されているのをも感じました。

6. 出典・参考・写真・資料

名古屋港水族館

国立科学博物館

国立科学博物館「特別展 海-生命のみなもと」

教育画劇 「海のよごれはみんなのよごれ

海洋ごみ問題を考えよう!」

海洋ごみ問題について知ろう

学研 「自然界の超能力! 5 微生物がヒントエコ科学

ポプラ社 「プラスチックスプーンの地球汚染水の惑星」

PHP研究所 「ごみから考えるSDGs

未来を変えるために何が「できる?」

ほるぷ出版 「つかう? やめる? プラスチック」

国際連合国際連合広報センター

「海を守るためにナマケモノにもできる

アクション・ガイド

「やめようプラスチック汚染」

Edu Town SDGs プラスチックごみの問題に取り組み

みんなが考えるきっかけに〜「ネットカットの外装を紙の包装へ〜

ネスレ日本株式会社